

ラット由来のミトゲン活性化プロテインキナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0443

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ミトゲン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) は、アミノ酸セリン、スレオニン、チロシンに特異的なプロテインキナーゼです。MAPKはCMGC (CDK/MAPK/GSK3/CLK) キナーゼ群に属します。MAPKは、ミトゲン、浸透性ストレス、熱ショック、炎症促進サイトカインなど、さまざまな刺激に反応する細胞応答を指示する役割を担っています。彼らは、増殖、遺伝子発現、分化、細胞分裂、細胞生存、アポトーシスなどの細胞機能を調節します。

別名 ERK2; 細胞外シグナル調節キナーゼ; ラット由来のMAPキナーゼ; MAPK; 増殖因子活性化タンパク質キナーゼ

製品情報

種	ラット
由来	E. coli
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
分子量	mol wt 42 kDa
純度	> 95% (SDS-PAGE)
活性	> 500 U/mg
緩衝液	20 mM Tris、pH 7.5、150 mM NaCl、1 mM EGTA、10% グリセロール、1 mM DTT、および 0.03% Brij の溶液。
代謝経路	ARMS媒介の活性化、特定の生物系; 活性化されたTLR4シグナル伝達、特定の生物系; 急性骨髄性白血病、特定の生物系; 急性骨髄性白血病、保存された生物系; 接着結合、特定の生物系; 接着結合、保存された生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系
機能	ATP結合; ATP結合; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; RNAポリメラーゼIIカルボキシ末端ドメインキナーゼ活性; RNAポリメラーゼIIカルボキシ末端ドメインキナーゼ活性; キナーゼ活性; キナーゼ活性; ミトゲン活性化プロテインキナーゼキナーゼキナーゼ結合; ヌクレオチド結合; ホスファターゼ結合; ホスファターゼ結合; ホスホチロシン結合; ホスホチロシン結合; タンパク質結合; タンパク質キナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; 転写因子結合
単位定義	1単位の活性化されたMAPキナーゼは、30°CでATPからミエリン基本タンパク質に1nmoleのリン酸を1分あたり転送します。

使用法とパッケージング

包装 100 ngのバイアル

保管・発送情報

安定性 -70°C